

清流 ニ ュ ー ズ

発行所
〒192-0904
八王子市子安町 1-22-25
清流 寺
清流ニュース編集室

令和7年度総祈願
本年度教化誓願達成・学徒・教務員増加
日禱上人五ヶ年報恩御奉公・御七回忌前年の年
寺内・境内整備・有志継続・一口奉納御奉公推進
御利益談を語る信徒の育成・御講願主・御会式参詣者増加
お助行・御法門聴聞励行・御奉公内容充実・教講一同ご利益感得

七月の御総講日

一日 十時 御修行日

七日 十時 バースデー総講

十三日 九時半 高祖御命日

廿五日 九時半 門祖御命日

於 清 流 寺

十二日 十時 高祖御逮夜

廿四日 九時半 門祖御逮夜

廿日 十時 歡尊御命日
晨尊御逮夜

於 羽 村 別 院

特別行事

廿七日 午前十時三十分

佛立開導日扇聖人御正當会

奉修導師

清流寺教務長

本庄日堂 導師

晴天祈願 (夏期参詣に併修)

夏期参詣 十三日・廿六日

第一座 六時・八時

第二座 九時半・十時半

廿日 第二座終了後大掃除

廿六日 第二座終了後前日「奉公

会議

一日 御総講後 役中會議

十三日 午後一時 参事会

7月27日
10時30分

佛立開導日扇聖人御正當会

奉修導師

当山教務長 本庄日堂導師

今回の御正當会 (開導會) は、寺内奉修ということと、奉修導師は、当山教務長・本庄日堂導師です。

去る六月二十日には、日序上人のご令室、常寂院様の十七回忌をむかえましたので、この御正當会に併修して営ませていただくこととなりました。真夏の猛暑の中とは想像されますが、一人でも多く参詣されますよう将引のご奉公にお気張り願います。



「佛立開導日扇聖人の御事」

さて、佛立開導日扇聖人は開導聖人、日扇聖人、大導師と尊称申し上げております。

開導聖人は、幕末の宗教改革者でもあります。

江戸幕府の宗教政策により乱れきった宗教界に一石を投

安人物誌、書・画の部に於てその御名を刻まれました。

廿七歳の時、門人を引き連れて、本能寺の揮毫会を催され、その折り、本能寺 (本門法華宗) 秀典院日雄大徳より教化をうけ入信されました。

その後、開導聖人は、淡路・隆泉寺・無著日耀上人を師僧として得度され、尼崎本興寺へ入寺を願い出るも拒否され、やむなく西行庵への入居となりました。

開導聖人は、ひたすら御題目口唱に励まれ、安政四年、西暦 (一八五七) 一月十二日谷川浅七宅に於て、本門佛立講を開講されました。

ご開講以後の開導聖人は、席のあたたまることのない程ご弘通にご尽力され、あの幕末の混沌とした世情の中での弘通でした。

明治十四年、高祖日蓮大士六百回御遠諱には一万人もの信徒が、本山宥清寺へ参詣されたことと記録されています。

東京中央布教区弘通方針概要「伝達力・語り、伝え、紡ぐ御奉公」

①「語る」・体験談・御利益談を語るご信者を増やす
現証布教を大事とする当宗

にあつて、体験談や御利益談が上がつてこないことほど寂しいものはありません。

「嬉しさをつゝむ恋路にあらざれば みのりのために人にかたらむ」と開導聖人も御教歌で示してくださっているように、ご信心の素晴らしさを実感していただくためには、どんどん体験談や御利益談を語り伝えていくことが不可欠です。

②「伝える」法灯・信行相続
くぐんげ会活動の再始動
コロナ禍で一番に影響を受けたのは、くぐんげ会活動の縮小でした。

コロナ以前はデイキャンプなど、積極的に活動を行っていましたが、四年の空白期間による穴は大きく、コロナ禍中に思春期を迎え、お寺にお参りする機会がほぼなくなり、せっかくの子どものご信心が後退してしまつたというお話も聞きます。

次世代育成はご信心に限らず、日本国、または世界中において喫緊の課題です。

約十年前、東京中央布教区内で活発なくぐんげ会活動が行われていた際に御奉公下さった青年会員、行事に参加してくださいとたくくぐんげ会の方々が今、支庁や各お寺の第一線で御奉公され、しっかりと信心を継いでいる姿を見えていますと、この一連の活動での経験や思い出が、将来大切な財産になると確信しております。

②「紡ぐ」布教区ホームページの作成・宗内外ネットワーク活性化
SNS (社会的ネットワーク) に代表されるように、今や電子の力は止まるところを知らず、専ら世間の人の情報収集や就職活動などはインターネットが主流となり、この世界でも、様々な面でこのネットを有効的に活用しなければ、生存競争を生き残れない時代となりました。

先のコロナ禍において、お参詣そのものをストップせざるを得なくなつた際、多くのお寺で YouTube や Zoom などを使った試聴参詣を実施し、そこから様々な工夫を施して現在に至つており、それもこれも現状を打開するために講じた結果と拝察をいたします。

開導聖人は御弘通について「過行方を習はずに成行末の人機はかれよ」とお示しです。時代が変わり、御弘通の方法も変わりつつある今、教化や結縁の手助けとして、布教区としても、弘通部を中心としてホームページを開設し、布教区管内寺院の活動や体験談の掲載など、宗内外の方に魅力をアピールし、未来を紡ぐ御奉公を準備してまいります。